

岩井半四郎

天保七年四月八日 深川浄心寺

法名 深窓院梅我日鮮信士

「御覽の通り某は勝手ぞんぜぬ西方へ

命はきえていそぎはひとり旅とか

穴とつて地獄の道へ引はれし無礼

くわごんの悪鬼どもわしも死なずは

あはれまいにはかない事にいたしてゐる

法華長兵衛

坂東彦三郎

芝月界院

法名 実誉秀佳信士

「そのばんずい

とはしうしちがひの

ほつけ長兵衛

したが御ひあき

方のたむけに

すいどの水をのんだ

おかげにやア気が

つゑへよわいもふじやは

よけて通しつゑへ鬼にやアすツ

かりたとへもこの百万きが唐船に

のつてきてもむかひのぼりのはたまんだら

びくともするのじやアごせへましねへ